

(人類のターニングポイント・チェック 1)

The turning point of human beings,
checking No.1 (Series vol. 2)

「そもそも大昔は
どうだったんだっけ？」

“Anyway fundamentally how had been ancient era going?”

うときゅう いっき

by utokyu ikki

Khazu san

物書き

うときゅういっき



目次

(Japanese expression ver.)

● といえば子供の頃の夏って

(English expression ver.)

According to remembering, summer in our childhood was...

(Japanese expression ver.)

● 古代人モドキの生活をしたら人類史を遡ってみたいとなった

(English expression ver.)

“Under had living like an ancient person, got to wanna be returning to human beings starting points”

● 1 万年前の出来事への興味

“Curiosity for 10k years ago events.”

● 1 万年前の人々への興味

“Curiosity for in 10k years ago people”

● 全ては火を味方につけた事から始まった

“First of the all, from what enemy “Fire”, to invite to on human side, started.”

● 人類の転換点への興味

“A curiosity for turning point of human beings.”

● 2つの置き換え

“Replaced, 2 items.”

● 諸元はマーケティング？

“The original source was marketing.”

● 諸元は電気？

"The original source was electric?"

● ところで、進化ってなに？

“By the way, what`s a evolution!?”

● 後記

“After article written up our side comment.”

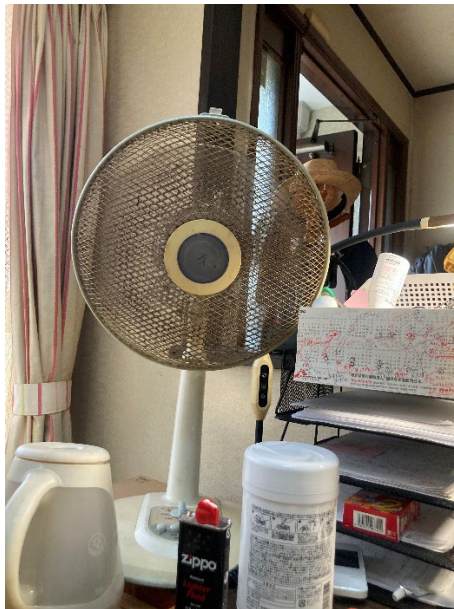
● 著者プロフィール

Wrier profile.

(Japanese expression ver.)

2022/8/10 (the date of written)/additional part 2024/3/24

そういえば子供の頃の夏って



(Japanese expression ver.)

2022/8/10 (the date of written)/additional part 24th Mar. 24

「そういえば子供の頃の夏って」

エアコンが壊れて扇風機だけの生活も早2か月。
直すなり買い替えればいいだけの話なのですが、
諸般の事情でその代金が現在、手元不如意の今夏。
「なあ6月。お前そんな奴じゃなかったよな」
という想定外の酷暑の6月が過ぎ
思ったより涼しかった7月で一息つき、
再びぶり返し、却って暑さが倍増したかの様に
感じられる昨今の8月。
締めて2か月の猛暑耐久訓練生活。
そんなある夕間暮れ、不図

「そういえば子供の頃ってエアコンなかったよな」

と変な事に思い当たりました。

「扇風機も一家に1台だけ」

どうやって暮らしていたのか自分の過去に興味が湧きました。

「それを家族6人で使っていた。みんな揃えば風が回ってくるのは6分の1」

よくまあそんなもので耐えられたものだ和我ながら少し驚きました。

「どうやって暮らしていたんだっけ？」

それで記憶の糸をたどってみると、その扇風機すら滅多に使っていなかった記憶も蘇ってきました。

うちわ、風鈴、打ち水、氷室の氷に手を当てる、裏庭の井戸で汲み上げた水で顔を洗うなど、結構涙ぐましい努力を小まめにしていた事を思い出しました。

(因みに「氷室」と書いたのは、当時我が家に電気冷蔵庫ではなく、氷屋さんから買った板氷を上に入れ、そこから降りてくる冷気で庫内を冷やす「非電気冷蔵庫」の事をそう表しました)

只、夏の気温は今ほど高くはなかった様に思います。上がってせいぜい30度ちょっと超えるくらい。

それで何とか凌げていたのだと推測いたします。

「そういえば一体いつの頃からエアコンがないと暮らせなくなったのだろう？」

考えてみれば自分がエアコンのある生活を初めてしたのは結婚してアパート住まいを始めてからでした。西暦で言うと1983年頃から。

勿論就職した1978年、会社の事務室はエアコンが利いていましたが、オヤジの代は事務所(工場勤務でした)と謂えどもエアコンはなく、窓を可能な限り大きく開け放ち、団扇と手拭い片手に書類を書いておった様です。

手拭いは顔の汗を拭う他に、半そで開襟シャツで剥き出しの腕から滴る汗のせいで書類がしょっちゅう腕の下側半分にはべり付くのを防ぐ為でもあった様です。

人によっては夏なのにインク汚れを防ぐ黒い袖覆いをしていた人もいたようです。

昔の映画で小役人の代名詞みたいに使われていたあの黒い布封袋です。

扇風機は風で書類が飛ぶといけないので天井扇風機が緩い回転速度で申し訳程度に回している位だった様でもあります。

そんな経験のせいか、昔気質で頑固なオヤジは、電気会社に勤めていて自社製品購買促進運動のリーダー格であった関係上、家に一台あるにはあったエアコンを「こんなものおまえらには100年早い」といって、来客時にだけしか使用しませんでした。そのためそのエアコンは購入後50年近く動作可能でした。まだ使えたのですが、電気代が驚くほど高かったため止むなく廃棄いたしました。オヤジ没後、それでも廃棄するに仕切れず、延び延びにはなったものの最終的には自分の代で廃棄いたしました。

そして思ったのは

「要はこの苦痛と面倒臭さから逃れエアコンガンガンで「快」と「手間いらず」(冷暖気は人は動かず何も言わなくても機械が勝手に快適を提供してくれる省電力、自己お掃除機能付及びセンサー全方位感知の完全手間いらず「これ一発」のオマカセタイプー押し)を手に入れたのと引き換えに、却って気温が上昇してしまったという事か。なんか皮肉な話だな」
そんな事もあって今回色々考えてみました。
「そもそも大昔はどうだったんだっけ？」

(English expression ver.)

23rd Mar 24 in English

“According to memorizing, summer in our childhood was…”

Although air conditioner hasn't run, for cooling is only by electric fan life has past already 2 months.

Improving is only repairing, newly buying, but from several troubles, few money handing inside wallet, then never can have done its improving any more in this summer situation now.

“Hey June, you have been not so hi heat up guy!! An?”

Murmuring above, as the same as hi heat up temp. level in Japan from June, comparison with average year, 1 month earlier.

But July was little bit cooler than my forecast, then could have a tiny ice cubes coffee break time, after coming August has returned hi heat up again, then the temp. difference makes me feeling double size increased heat up, nowadays someday.

In result, 2 months against hi heat up training has done in actual, in natural.

Under one of such days, suddenly remembered something curious.

“From my memory checking in my childhood, in our home no AC(air conditioner) anymore”, I remembered.

“Even electric fan within home ! set only.”

And I got interested in our past time life, how to live?

“One home one electric fan, which we had shared using by 6 members of our family.

In the case of all members at the same time get in, reaching cool air by fan is 1/6.

I was little bit shocked how to patient against for such, we all!?

“How to had kept living!?”

From it, returning to at the time by trying to remind own situation, remembered even electric fan using, very seldom, the memory returned.

In Japanese word, Uchiwa (handy fan waving), Fuulinn (glass bell by wind ringing as cool sound, mental coling), Uchimizu(land heat up temp saving water shower), ice board touching

inside Himuro (non electric cooling box, putting ice board top place inside cooling box, and cool air from top to down cooling system, no using electricity, using only ice board.) or in backyard stayed by pump up cold water using for heat up face or neck cooling, like these so many cooling items used. Very hard work every summer days, but except them we had nothing other ways.

But fortunately, at the time summer temp. was not so hi, I memorized. Max 30°C maybe.

From it we could survive with dynamic saying.

“By the way, from which period less AC means never can live?”

According to my former memories, AC for own holding time was after married, the first time.

Under European counting, around 1983~.

Sure that 1978 when I was employed, the year, already AC running at the company office, but at the time of my father`s era, at the office attached factory inside area, the office inside no AC, bater, against heat up of summer temp, window as wide as possible open, or while in one hand by handy towel on face sweat sweeping, working on and on, I heard of.

According to additional other story, the handy towel as other using way is arm sweat sweeping against writing paper stuck to wet half under part of arm. Some of staffs sometimes wearing black arm cover which for protecting ink reflect or rebound to staff arm used. despite of summer season they were wearing,

Electric fan, aim to guarding for documents paper flying away by fan`s sharp wind, office ceiling attached large size electric one with very low speed running only, such also I heard of from my father.

Might be from above experiences, old era mind type my father never made us using AC inside our home except guests visiting time, why the AC stayed at the time in our home, because my father was reader of own company products own products buying campaign, one AC stayed home. But he always said to us, “it`s 100 years earlier to your using, Never switch on except guests visiting time!!”

From it the AC can be running until 50 years later, but electricity fare so cost hi to us, then a, thrown out.

And from it, I inspirated one is that,

“On summary, instead of getting convenience and amenity escaping from suffering with inconvenience and heavy duty, for example case of AC, vas versa getting our planet warming up, as a bater. It`s very bad joke, ironical one.”

From like such above several holding, I asked to own below,

“Anyway fundamentally how had been ancient era going?”

(Japanese expression ver.)

2022/7/24(the date of written)/additional part 2024/3/24

古代人モドキの生活をしたら人類史を遡ってみたいく なった



(Japanese expression ver.)

2022/7/24(the date of written)/additional part 2024/3/25

「古代人モドキの生活をしたら人類史を遡ってみたいくなった」

どうせ貧乏ついでにそれを「楽しん」だり「面白がっ」たりしようと「古代人モドキの生活」をトライしてみようと思いい立ちました。

別に古代の生活だからと言って「赤米」を焚いて食べたり猟に出かけたりする訳ではありません。

というのも現代生活に慣れきった我が身には、幾ら何でも息なりジャスト古代人生活イトセルフは無理がありそうなので、鼻から日和って「せめて」もの代案として「産業革命以前」位に設定し直しました。

まず移動は徒歩かせいぜい自転車。

当然エアコンはなしですが、但し、当時の夏の気温は現在より数度低かったらしいので扇風機だけは相殺勘定扱いで認める。

電気もなかったでしょうから家電製品は一切使わずに、と言いたい処ですがそれはいかにも負荷が過るので、せめてもライティングとしての電気を使うには使うが極力使わない努力をする、即ち夜の活動は殆ど行わない等をやってみようと思い立ちました。

「幸いにも」と申しますか、「禍転じて福と為す」とで申しましょうか、アナフィラキシーショックの恐れは是在りでワクチン接種できない事から人混みを避ける為に公共交通機関を殆ど使っていないのですが、それを活かして移動は徒歩かせいぜい自転車のママでいる、とか、

エアコンが壊れても、今は亡きオヤジが設えたエアコンは特殊仕様でおまけに古すぎてメーカー補修部品保有年限はとっくに切れ、修理部品がない事からエアコンなしの生活をもう3週間以上強いられているのですが、其れもそのままにしておけば条件達成。(当然新規にエアコンを買うお金はなし。クレジット・カードは引き落とし不可ばかりで差し止め中) 又エアコンが壊れた影響で家の窓や扉を殆ど全開にしておりますが、副作用として夜灯につられた虫に「ついで刺し(ついでに刺していく)」ばかりされているので極力消灯しており結構不便なのですが、これもこのままにしておく。

等です。

電気釜やIHコンロによる飯の煮炊きと冷蔵庫、それと風呂、トイレだけはどうしても外せなかったので、意地を張らずにこれだけは無条件で以前の生活同様生かしておきました。

(この、意地を張らずに残したもの、即ち飯の煮炊き、冷蔵庫、風呂、トイレこそが大震災時のライフライン確保が非常に難しいものであることも実感いたしました)

以上の様な状況設定をしてから早いもので現時点、既に約1週間が経ちました。

処が、そこで気づいた事は「文明の利器」に関する事が主でした。

「基本仕様だけでも当時からすれば相当なものだ。それ以外ははっきり言ってオマケ」

で、そこからさらに進んで

「車の付加仕様、家電製品のこれでもかこれでもかの便利機能、お散歩やジョギング、ツーリング時の雄鶏コケコッコウエアなどなどは本当に必要なのだろうか? 過剰 lapping 同様資源と手間、忙しい仕事、忙しい人間社会の「(不要な) 忙しさ」の無駄遣いでしかないのではなからうか?」

そして更にまた進んで

「この「売らんが為」の隠れ蓑として、需要以上の過度の小分け、神経質過ぎるマーケティングセグメンテーションを作り出し、其れが恰も消費者が内心求めていたものだ」と喧伝した結果「差別化による新規需要掘り起こしこそが需要創造と、そのその先駆者になることで得られる創業者利益といった、一見尤もらしい理論を生み出した。

その理論を鵜呑みに、或いは更に骨抜きにした結果生まれたゴミ糞レベルの差別化商品の氾濫、転ばぬ先の杖的に繰り返す恒例行事踏襲、上司へのアリバイ臭、己への護身保険臭ポンプンの惰性的、衣替えレベル、短期入れ替え開発。

競争者同士のお家の事情がそうであるが故に不都合を知りつつ、相手の後塵を拝して上司

に不興を被っては我が身が危ういとばかりに結果やりまくってしまった過剰生産が生み出した過剰在庫の山。

しかもその山は、上司の顔色見ながらの過剰短期、結果手抜き開発やら過剰コストダウンしすぎで再販不可能。更にキャビネットを作る金型代の一台当たりコスト負担を減らす為に大量ロットで割った結果、過剰生産数同様、過剰在庫数も半端じゃない。倉庫代もバカにならぬ。

となれば売りさばくにバナナのたたき売り。超絶ディスカウント。

問題は次期商品対策。何しろ名前は新商品だが既述の如く、中身は似たり寄ったりの衣替え程度、しかし前回売れ残り対策で行った大幅値引き価格を新商品の標準価格迄引き上げなくては損益が回復しない。となると新商品には、元手のいらない「更なる大げさな嘘ハッタリの謳い文句」をつけなくてはならなくなるという実態と謳い文句の乖離幅再拡大の悪循環。

そもそも「需要創造」は正しいのだろうか？寝た子を起こし、イリュージョンだけ作り出して、本来必要のないものを追いかけさせているだけ。追っかけさせるのに失敗すれば後はゴミの山だけが残る。

大抵は失敗するからそこいら中、無残なゴミの山だらけ。

「需要創造による繁栄」ではなく「不毛創造によるゴミ頒布」

今の形の繁栄は人と地球を苦しめるだけのものになっていないだろうか？

繁栄の概念はこのままでいいのだろうか？

この妙なこんがらがりを解きほぐすだけでも相当な資源抑制と CO2 削減や心理的整流化に役立つのではなかろうか？」

産業革命以前に戻った事を「想定しただけ」ですらこの様な疑問が湧いてきた。

ならば、これを古代人の視点迄遡ってみると次は何が見えてくるのか？

かなり興味が湧いてきました。

(English expression ver.)

25th Mar. 24 in English

“Under had living like an ancient person, got to wanna be returning to human beings starting points”

“On the way of taking anyway, as an add on poor money life, for enjoying or for getting own fun, I would plan to set an ancient life situation reviving.

Nothing in particular, I use the word ancient life, however, no going to wild field for hunting nor ancient type rice cooking and nor eating,

Because for me who already has been familiar with modern convenient amenity life, just the

ancient life itself is so strongly out of fitness, then little bit by target to loosen, as an alternative plan to reset, to replan the target point is little bit before industrial revolution in England level, I got it level down.

First moving is by on foot or on the worst case by bicycle human pedaling.

Sure that Less AC, but As a bater, even though at ancient era climate is normal temp, maybe 3 or 4 degree °C lower, plus minus electric fan using ok, the condition set on.

I can imagine at the time less electricity (alternative at the time lighting by ark lamp), from it, I never use home automation(HA) tools anymore, such I want to announce, however on opposite, it's over pressure for me, then a, as at night time lighting electricity allow to use, but try to use minimum, I promised to own. In other saying, it means as the same as night time activity get saved automatically.

I can say, being fortunately, or can say it as allegory "make it turning from badness to fortune" For the example badness the one which from covid-19 anaphylactic shock protecting, although I never can get vaccination chance, from it, I have never can be getting on public traffic system anytime, but vasa versa it can be turned to fortune the one which no need change current on foot commuting, by bicycle riding commuting, like this,

Or, as for the 2nd example, badness the one which even in the period of AC not running so long, I can't get repairing parts from products maker because my father set AC type is so vintage class old and extra spec full one, but from it vasa versa this forced AC less summer life already 3 weeks past, then without effort, can reach this condition full. (not enough money stock for new one buying, or for monthly loaning credit card stopped because of several times payment delaying)

And for the 3rd example is that although less AC, for inviting cool out side air into room, making door and windows open in night time also, but from it, insect from outside focusing room inside lights, rushing into room and attacking my skin, then for saving their rush in. as possible short time as I can, lighting switch on keeping, from it, very inconvenient but automatically electricity saving condition cleared.

E.t.c, that's over.

Electric rice cooker, IH heater table, such cooking tool, electric cooling and freezing fregi, and bath shower, toilet system, put them out of stopping as same as before using condition, from minimum natural.

(But I noticed out of mark above 5 items, vasa versa, at the time of collapse coming, the most required important first advantage item, Just now I already have known. From commodity time as a prep. we should think about alternative tools at the time of no can getting situation happening.)

After setting above condition, it have past already 1 week now a point.

At now my main noticed items are concerning to modern (industrial) conveniences.

Under comparison with at the time of industrial revolution happening,

“Even mere(simple) basic specs of nowadays tools will be counted like a full spec level already reached. Other decorative later add on and on specs, from clearly saying, perfect waste!! Gadget novelty, the same level!!”

“option or additional specs of car, wavy repeated additional function add on and on of HA tools, like a Macdonald doll outlooks decorative, strong pushing in city running time cycling costume wearing.

Above such these indeed necessary? As the same as over lapping, it`s simply waste consuming of nature materials and labor power occupation or “busy” business activity, “busy human” society or not?”

“As a camouflage for hiding “sales first”, clever foxes squeeze it out, it means “dummy” market creation concept by sensitive, nervous segmentation to market, but real market size lower, they on purpose have done double counting or more, the left technic as a proof by marketing theory they show the executive of big company, get permission below announcement appealing to staff of their company inside,

“To dig it up at now consumers themselves still not notice yet, in their deep bottom sleeping demands dig it up!!

From above, the concept was settled that “just only digging up of customer`s hidden demand by “difference makes differences” products planning will bore demand creation up, and due to become for this, pioneer, pioneer will get top runner`s profit by less competitor situation.” Such above at one glance looked true concept had come out.

The guys who copied above whole, and more scale downsized, after it has come out on the same line, tiny difference only products, but according to ad, “The revolution brand new debut”!! such scrapped level products full occupied here and there around us.

Like a shock absorber before slipping down, like as following calendar schedule stamped, short cycle very busy cosmetic change has been occupied and has covered customers around. Above developing guys perfectly have forgotten customers, bated, watching at boss`s face only!!”

These competitor inside situation like that the same, from it, despite of knowing inconvenience this itself containing, however, competitor inside, the same situation, if it so, never can be behind them because both side boss will feel uncomfortable if own side will get lost win, staff we will hit by boss.

From it as a result, never can stop overproduction, a mount of invent from overproduction in front of arounds.

And this mount of invent is very slow move ones because under boss` comfortable, short period development, cosmetic change only, quality level down, down, down, cost down.

Addon mount of invent as same as number of production products, the quantity not few, so hi many because for per one product charged mold cost get down, quantity of products set so hi from the first. whole mold cost/quantity. Cost of for invent stock place is not few.

From it, for all sold out, only the left way, discount!!

Problem is next brand-new, (debut) condition condition is.

From above, position name "brand-new" but in actual is cosmetic change level usually.

Otherwise the difference of actual sales price between previous discount one and brand-new starting point sales price is quite so far. Therefore from it, turning to depend on less cost item, like a catch copy, and cause of such this, actual and catch copy differences turn to far and far, into bad cycle.

First "demand creation" is correct?

It`s illusion only? Tracking illusion forced us only? If it fail them tracking, the left one will be a mount of no need scrapped only?

Almost of all cases will be failed, around here and there mounts of no need wastes.

It`s not "prosperity by demand creation" but "(aim to)profit by dummy demand fake-making" as a result, no need scrap left only?

Current prosperity style becomes the one which suffer human and our planet, such only!?

The concept of prosperity, current style no need changing?

This strange complicated problem, to get it clear seen resolving, we can save so much amount of our planet material asset, co2, and can clear human mind confusion?"

Only to set tentative returning to industrial revolution era, so many questions come out.

If returning to ancient people perspective, tentative I can, how will be going? What can we see?

It makes me so interested in!!"

(Japanese expression ver.)

2022/7/24-2(the date of written)/additional part 2024/3/26

1 万年前の出来事への興味



(Japanese expression ver.)

2022/7/24-2(the date of written)/additional part 2024/3/26

「(人類の) 脳の進化は1万年前から止まっている」

何処で見たのか、見たこの記憶が正しいのかどうかさえ分からないのですが、見た当時

「何それ？そんなことある訳ないじゃないのよ」

と思った記憶が鮮明なので間違いなくどこかで目にした文言だと思います。

その当時

「1万年前に止まっているのだったら、活版印刷のグーテンベルグはどうなるのよ？コペ
転のガリレオや蒸気機関のワットは？飛行機のライト兄弟や相対性原理のアインシュタ
インや近いところではコンピューターを発明した人やスマホのスティーブジョブズさんなん
かはどうなるのよ。そんなことある訳ないじゃないのよ。阿保クサ」

そう思ったからです。

しかしこの文言は何故か頭の片隅に残りました。

「仮にそうだとしたらどうなるのだ？」

「何を以てこの文言の主は進化と言っているのだ？」

「今天才と言われている人たちやこれ迄に時代を画する様な発明をしたと言われている人たちは実は採るに足らない小物達に過ぎなかったという事？」

もし仮にそうだとしたらこの事実は自分にとっての目から鱗、天地逆転のコペ転以外の何物でもなく「常識大転覆の大変事」に思え、大変な混乱を覚えました。

「それにしても何に着眼するとそう見えてくるのだろうか？」

「脳の何処？脳のどの働き？或いは脳が促す行為の何か？何だろう？」

最後の疑問はそれでした。

1万年前と言えば、今自分が興味を抱いている古代人よりもっと前のむしろ原始人に近い年代です。或いはその端境期かもしれません。いずれにせよかなり前まで遡る事になります。産業革命以前の生活体感実験をしておりますが、それどころの話ではありません。

「人類が上昇気流に乗る前に、既に人類の脳の進化は終わっていた」

是はかなりショッキングな仮説です。

「だったら今の是（この時代のこの状況、状態）は、今のわれわれは一体何なのよ!？」

とため息が漏れてしまいそうです。

「ジョブズさんですら小物だとすると、自分等一介の凡人、市井人は一体全体何になってしまうのか？砂漠の砂の一片（ひとかけ）、芥子粒、蚤の目ん玉サイズ以下の存在でしかないじゃないのよ」

この混乱と納得のいかなさ（＝不領）の入り混じった心象に対して「で、それはどう見るとそう見えるのか？」という、好奇心と整理のつかない落ち着かなさに対する不快感を取り除きたいという気持ちの方が勝った様でした。

この文言の主が誰で、その人の著作物が何なのかを、何よりもまず先に探し出そうとはあまり思いませんでした。

其れよりも1万年前と言った根拠（視点視座）とその新しい視点が齎す「今後への変化」の方に俄然興味が湧いて参りました。

「この人の論に乗る前にまずは自分なりに整理してみよう。その方が断然面白そうだ」

そういう思いのせいか直ぐには「言い出しっぺ探し」に飛びつかなかった様です。

(English expression ver.)

26th Mar. 24 in English

“Curiosity for 10k years ago events.”

“Evolution of human being`s brain already stopped 10k years ago”

Somewhere, where some seeing, or my memory of seeing that is correct or not, even judging it now can`t, but according to at the time the I had held strong doubt, it is real one, I think.

Then a, that strong doubt I holding one is below,

“What`s that? Never happen such!!”

And why I felt above, the cause of that is following below question holding,

“Tentative in the case of that human beings` brain evolution already stopped 10k years ago, for the example, the inventor of letter press printing Gutenberg, how about? Not sky moving but the land moving`s Galileo Galilei, what about? Steam engine, what, how about? Airplane, wright brother, how? Recently, inventor of computer, i-phone, Steave Jobs, What about? Their brains already had stopped, not had been running? Those great inventions are a mount of scraps? Don`t be silly!!”

I counted above it so.

But above sentence “evolution of human brain already stopped 10k years ago” why some has left (stayed) a corner of my mind.

“Tentative if it`s correct, what happen the next?2

“This writer, from what`s proof, evidence, he said such?”

“Nowadays called, counted “Genius” or “Epoch making inventor” were in actual tiny tips the same scale or not?

Tentative if it`s just hit the point, it has made me very upset, has invited to confused world.

Taking anyway, on what put eyes, it looks like seen so?

To which part of organ “brain”? By which function of organ “brain”? Or organ brain makes us proceeding something what? “What pointing?”

Last question, it was.

10k years ago, it`s far more past era than ancient era which I`m interested in in this time. Primitive life, dawn life, cave life rather than ancient life. I have to return to so far era position. Now while going on experience life of before industrial revolution era, it`s almost gadget trial!!

“Before riding on jet stream up and up higher and higher, evolution of human organ “brain” already got over, stopped.”

It`s very shocking tentative theory above,

If it so, what` this, this current era, long, long, continued series huma history, current we now, what!?”

Almost sigh, and to get dizzy.

“Even Steaven Jobs is tiny. Then a, me what? What`s it me!?”

To this confusion and no nodding give up, “how to see, can it see so?” such curiosity and being uncomfortable to no resolve this question, looked like get win to confusion and no nodding no option give up.

Who is the writer, where is his writings can be finding out, no from the first planed to seek

out.

Rather than seeking out, the writer, the his writings, sharply got curiosity up and up, concerning to perspective of his saying 10k ago, and it will inviting later perspective changings. Before flying to the writer`s world directly, first try to organize by own. It`s more amazing for me!!”

From such tough, might be, no at once flying to his world.

(Japanese expression ver.)

2022/7/25(the date of written)/additional part 2024/3/28

2022/7/25

1 万年前の人々への興味



1 万年前の人々はそれ迄にどんな発明の恩恵を受け、どんな事までできる様になっていたのか？が最初に明らかにしておきたいと思います。

思うに現代人は今迄の発明の恩恵を受けそれを享受して人類全体としては底上げされている一方、発明元である原始人はその恩恵を受ける事はなかったものの何もない中で発明をしてきた訳ですから原始人の先端部分は遥かに現代人より優れていたのではなかったのでは、と想像されます。

PC にしろ、車にしろ、テレビにしろ、これらは全て道具ですが、現代人はその道具を使っていろいろなことを成し遂げている一方、原始人は道具のない時代に道具そのものを発明してきた訳ですから、その観察力、発想力、整理力、応用力等様々な面で現代人とは比べ物にならないくらい潜在的なパワーがあったのではないのでしょうか。

実は自分が原始人や古代人に着目した元々のきっかけは「人類史上最後尾で最も優れている筈の現代人の余りの情けなさ」を感じ、その裏返しで大元はどうだったのか？に興味を持ったからです。

「情けなさ」というのは、安全安心が過ぎたから、とおぼしき現代人の目を覆うばかりの潜在パワーのレベル低下、底抜け状態もさる事ながら、その抜けた底を穴埋めするかの様なメディアによるちょっとしたことで空騒ぎする「カリスマ、達人、天才」の大安売り、粗製濫造に対する完全な嫌悪感。

一応世間一般からのお墨付きがありはするものの、其れとてよくよく観察してみれば、原始や古代の名も知れぬ大粒の天才達の目的が「仲間の為」。一方、現代の天才群の目的は「まずは我が名。そしてお金」

「その小粒さ」に対する「残念至極感」の事です。

余談が過ぎました。話を元に戻しましょう。

此処から想像上の1万年前です。

発掘資料から石の鏃（やじり）、石斧、石包丁はあった様です。要するに今あるものを用途（達成したい目的）に合わせて加工するという発明。

その集大成が自分の手足以外の能力の獲得である「道具」の発明。

又、植物等から抽出した絵具という道具を用いて描かれた壁画も発見されておりますから抽象化という発明もされていた様です。抽象化と言えば建造物の遺跡も見つかっている事から数学、天文学、時間概念等の高度な抽象概念の原型も生まれていたのかもしれない。

当然ながら言語はあったでしょうが、それを記録する文字があったかどうか？文字は絵画の後の産物だと思われますから。

でもまだ肝心なものが何か欠けている様な。

さて？

(English expression ver.)

28th Mar. 24 in English

“Curiosity for in 10k years ago people”

“10k years ago people until that time what kind of harvest from invent had received, until what kind of matters could have they can?”

It's my first setting question to get clear.

According to my guess, modern human until now harvests from invent have received and have enjoyed, totally bottom of whole modern human have put bottom up, otherwise as a first inventor, primitive, cave, human despite of no receiving later harvests from invents, within no tools around, but had invented, it proves. Top runner group of primitive, cave human ability might be far more superior than modern human skills.

Or pc, or mobile, or TV set, these are all tools, while modern human using these tools, reaching or getting have done so many, on the other perspective, primitive human under less tool itself around, but had invented, it means primitive human at the point of observing, imagining, organizing, concretely using, expanding, these hidden slept abilities might be so hi, no comparison with modern human.

In actual, original trigger of my put a glance to primitive or ancient human was because Despite as the last tale of human history, have to be the most superior, in actual the most like flier tip, cheapy, I felt, from it, reverse, how was original source, I got interested in. That “flier tip cheapy” means that looks like over safety zone keep around, modern human slept hidden power level down like a bottom lost, on other side, like a lacking bater, on media site, “Charisma, Maister (German=master in English), Genius” big bargain sale world open. Vacant festival, for it, my strong uncomfortable feeling.

Even famous the ones, according to by more severe observing, checking, primitive, ancient the each one`s name unknown big scale genius, their purpose is for arounds others life level up, against it, modern genius, their aim is for “first own honor, second money”.

For to such tiny scale down, very poor, I felt, that means “flier tip cheapy.”

Too far from main road. Will return to main.

From here 10k years ago world on my imagination.

From reference, stone arrowhead, stone ax, stone chopper, found out, looked like there at the time already. Simply saying, at the time they could get from around, the ones they matched for their using way, to remake, such invent.

That whole collections is inventing “tools” which own hands, own legs except, ability power getting

And as wall drawing by paint which was made from plant juice, was found out, abstraction concept already was invented looked like.

Concerning to abstraction, also structure was found out, more hi level math, astronomy, time concept, these ones more hi level abstraction power prototype they already had held, might be.

Sure that they had conversation language, but letters for recording they had or not, we never can fix, because letters later coming after drawing.

But until now my telling, but still not reach to the core, seems to be.

Well now, what?

(Japanese expression ver.)

2022/7/25-2(the date of written)/additional part 2024/3/29

全ては火を味方につけた事から始まった



現代の富の元である生産（又は生産財）と貨幣（信用概念又は信用取引）はもうあったのでしょうか？

生産は中学の教科書によれば我が国では弥生時代に大陸から「稲作」が伝来し、農耕生活（＝定住化と、其れまでの狩猟のように偶然によらない計画的生産と備蓄）が始まった様なので、生産はまだであった様な気がします。弥生時代は可成り後期なので。

又貨幣についてはそれ迄の物々交換が成り立ちにくい、例えば遠方との取引の開始等の条件がないと代替取引（信用概念、信用取引）の発想が生まれないでしょうから乗馬や大型船等の長距離移動手段の獲得前にはなかったと思われます。

1 万年前に関する資料には乗馬や大型船の痕跡は載っていない様です。

となれば他に何が？

で、前回の自分の記事で添付のイラストに使っておきながらすっかり見落としていたものがありました。

「火」です。

何故見落としていたかと申しますと火は人工物（道具）ではないという思い込みがあったからです。なので、無意識に除外してしまった。

しかし、よくよく考えてみれば「本来生き物が最も恐れる火というものを道具として味方に引き入れる」というのは、是はもう立派な空前絶後の大発明です。

まず、夜に火を焚いておけば火を恐れる獣に襲われる事は減多になります。又火を使って炙り焼きにするなり焚火にくべて蒸し焼きにするなりする事を覚えれば味もよくなり日持ちもよくなり衛生にもいい事が分かって生活レベルと範囲が大幅に伸びたのではないのでしょうか。

権力の元となる武器や、生産の飛躍的向上の元となる農具、も鉄の精製を可能にした「火を味方につける」という発明がなければ全く実現しなかったでしょう。

肥料のない時代の焼き畑農業も、重すぎる石貨に代わる火をたいて鑄造する金属貨も生まれていなかったでしょう。

恐らく火は人類の生活や価値観に激変を齎したのではないのでしょうか。

言うなればまさに人類のターニングポイント。

security（安全、防御）、農業（食料、生産）、武器（軍事、権力）、貨幣（信用という、富）、快適（暖、調理、衛生）これらは火がなければ普及、発展し得なかったものです。

そして火を energy（熱、熱源、熱量）として勘定すれば現在の温暖化の大元として既に一万年前から仕込まれていた訳です。

そして現在全世界で最も重用されるのが最後の「快適」

処がその「過度の快適追及」が図らずも energy の増大の大きな要因となっている。

霊長類の一部は木の葉を噛んでスポンジとして使う様です。気の葉のスポンジは道具です。しかし人類以外の生物で火を道具として使う生き物は皆無です。そこが人類と他の生物を根本的に分けた分岐点。

恐怖を他の生物同様には終わらせず「これを使えないか？」という逆転の発想をし得たのが人目人科だけだった。

しかし火の活用は後代（現代）において地球からお叱りを受ける最大原因にもなってしまった。

この「人類の快適追求(生活面、成長戦略に基づく経済活動成果評価)」が「地球破壊」を促進するという相反問題は相当に根深いものである事が分かって参りました。

(English expression ver.)

29th Mar. 24 in English

“First of the all, from what enemy “Fire”, to invite to on human side, started.”

As the original source of modern asset, production(production asset), currency (trust concept, using trust main dealing) they primitive human already had?

About production, according to secondary school textbook in Japan, “rice” feeding method from Urasia Atlantic was brought(come) in era “Yayoi”, farm settling life (fixed living place, can schedule feeding food and can prep. inventory) could had been. From it, in primitive era production still not yet because “Yayoi” era rather so far late after.

And about currency, according to my guess, the necessity to happen might be after trading deal between far place to each other on which never can settle things to things exchanging,

from it, can mass distributing, riding horse, big size ship (boat) less era, in primitive era, primitive human no had currency, from my guess.

According to 10k ago reference, about riding horse, big size ship(boat) no record seems to be left.

If it so, previous my question, “well now, what?”, except the above, the others what?

At the same time I noticed, despite of that on my previous article used illustration, perfect put illustration inside information out from my recognition, the one there.

That`s fire (illustration).

Why putting fire out because fire is not artificial tools, such fixed thought I had, then unconsciously putting it out.

But according to more deeply thinking about it, fire which originally creatures feel most strongest fear, the one put it aside on their side, is just great dynamic no comparison with, big invent itself.

First while night time burning fire, few coming creature which feel the strongest fear to fire for attacking, such the case few. Cooking with fire, will get tasty meals, such meals variation up and meals long time in stock can be, and more will get cleanness, sanitation level up.

After noticing it, their life level and range might be getting so expanded.

Weapon which is source of authority power, farm tools which is source of food materials production hi up, collecting iron elements could be, “fire to invite to on human side” , the noticing, if it less(unless this noticing), these events never could come true.

Under era less manure, fertilizer, slash and burnt farming or alternative too heavy stone currency, collecting by fire, iron currency, both no human possibility they could have.

Maybe “fire” might be bringing big shock and change to human society.

It`s just turning point of human being.

Security(against attacking from arounds, guarding, protecting), agriculture, weapon, currency, and totally amenity no hi up, no expansion there, unless fire power noticing.

And in the case of while fire, counting as energy, the original source of current our planet warming, already 10k years ago, had been built in our history, society, we can count it.

And under current all over the world, the most hi weight putting is the last item above “Amenity”.

But vasa versa, overrunning of tracking amenity, uncountably is the most, biggest energy use increasing hi up and hi up.

One part of primate, for example chimpanzee, while chewing wet leaves, after it using it as a sponge, sure that it can be called “tool”. But except human beings, no creatures use fire as a tool. It`s just selected point, human being and other creatures, each one going so far way later.

Selected point was that other creature fear only but human beings, can't we use this fear fire as a useful tool?, such reverse concept they had inspirated.

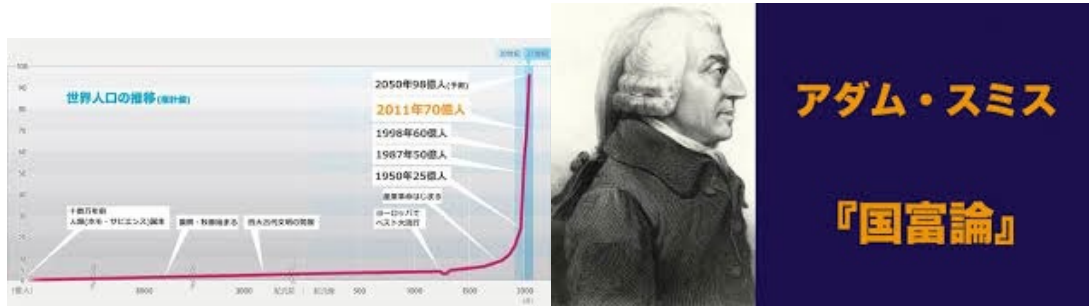
But this useful using fire, mass using fire by hi performance, vasa versa, in current situation, it turns to be most biggest scolded item from our planet to human beings.

This "tracking amenity (life and economic condition) of human beings brings at the same time invites "collapse of our planet" the competitive problem, is so deeper than our imagination, going on the way of finding out.

(Japanese expression ver.)

2022/7/26(the date of written)/additional part 2024/3/30

人類の転換点への興味



前記事では1万年前の「火を味方につけた人類」のお話致しましたがその火にはどうやら功もあるが罪もありそうだという事も暗示いたしました。

他の肉食哺乳類に比べ体も小さく狩りに使う牙爪も持ち合わせていない人類の祖先がここ迄繁栄するに至ったのは「火を味方につけた」事が大きかったのではないのでしょうか。

是を火の「功」(人類にとって)だとすると(周りに対する)「罪」の部分は今日の地球温暖化の元を組み込んで(built in)しまった事かもしれません。

というより「ある時点ある規模の処迄は功への力を発揮し人類に寄与していた火が、ある臨界点を超えた時点で罪に変質してしまった」とは言えないのでしょうか？

それが何処の時点であったかは暫く置くとして仮に原始人なり古代人が今の現代社会に暮らす我々現代人の「大真面目な」ニーズ(物言い、言い分)を聴いたらどんな反応を示すのでしょうか？

「エアコンの吸入口には雑菌が付き易いから、掃除をする際、雑菌を駆除し、お肌にも優しい植物由来 100%の専用洗剤が必要よ」

是は以前自分の記事で書かせて戴いた「筆者も驚いたニーズ」なのですが、是を原始人なり古代人が耳にしたらどんな反応を示しますでしょうか？

まず

「何の話？」

が第一に思いついた反応

第二には

(言っていることを説明できたとして)

「涼しくなる(暖かくなる)だけで驚天動地の驚き。それで十分。それ以上未だ何か要るなんて???やで」

そして最後の想像は

「丘の向うの集落には何やよう分からん部族が暮らしてはるゾ」

この話は別に原始人や古代人でなくても例えば産業革命直前の英国人でも同様な感想を持つのではないのでしょうか？

そして思い出したのが世界人口推移図。

是によれば産業革命以降、特に 20 世紀に入って以降、世界の人口が爆増した事が一目瞭然です。

原始以来地を這う様に推移していた人口推移グラフの線が産業革命以降、縦軸を壁面に見立てたとしてその壁にカマをもたげつつあった（身を起こしつつあった）蛇が、壁面に当たった途端、その壁面伝いにググッと垂直に伸び上っているのです。（20 世紀に入るやいなやです）

産業革命以降、農業中心の社会から工業社会が生まれ 20 世紀に入ると主役は完全にそちらにシフトしました。

この工業化された社会が生み出す大量生産と交通網の延伸拡大等により社会や市場は多様化、複雑化し、その動態を捉える為にマーケティング理論が樹立される様になりました。図らずもこのマーケティング理論樹立（結果として市場の細分化とレッテル張りが横行、全人格的人間を属性分けして用途毎にパーツ化した）により軍事、戦争の intelligent 化と大規模化が進行し、更にはちょっとした差別化や殆どこじつけに近い様な言いくるめによる需要創造ならぬ「不要品押込」が専行しその後には余剰物がほったらかされ、其れに関して誰も責任を取らない「無責任社会」が現出した之感、是在りでしょうか。

そしてこの「無責任でも OK。やりたい放題し放題してもダイジョウブ。なんせ自動修正役がバックにいるから」というお墨付き（心理的安心感。罪悪感消去、罪状放免、特赦機能）の理論的権威根拠として選ばれたのが当時世界的に著名な経済学者 Adam Smith の手になる「国富論」最後部の一文言、実証法上の超飛躍。

「神の見えざる手」（による自動的オールキャッチアップ、ビルトインスタビライザー）
予定調和的軟着陸。

であった様な気がします。

(English expression ver.)

30th Mar. 24 in English

“A curiosity for turning point of human beings.”

In my previous article, about 10k years ago "fire to invite to on human side" was telling. And at the same time fire has good point but bad point also has looks like, both good and bad, fire holding, the story I told.

Comparison with other hunting animals, human is body size smaller, no having physical knife and chopper, 10 years ago human beings, why so widely could have they expanded until now? Because they invite fear fire to on their side, the correct answer for it, might be. Tentative above is good aspect of fire (for human beings), bad aspect of fire (for arounds) is nowadays the tendency of our planet warming etc. at the same time built in might be.

Or more focus saying "until some point, until some scale fire had been so helpful for human society, but at the point, scale maximum line human request has overrun, fire aspect of goodness has turned to badness, quality has changed., such can't we say?

Which era was above turning point of quality changed, little bit long to put it aside, tentative or primitive or ancient human heard of modern human's serious needs, how they will react?

Above the needs is "AC (air conditioner), as air drinking deck around so easily stuck bacteria, while cleaning a deck of AC, at the same time, both sanitizing, being soft for our skin which made from plant 100% liquid type detergent should be required!!"

This topic to which me writer was shocked is from the former in my writing article one.

How primitive, ancient human reacting for it!?

A their reaction for it from my first inspiring was

"What!?"

Next, tentative I could explain her saying situation,

They

"Can cool, can warm , that's surprised. Only them, perfectly enough. Something others, why!?"

And last one was

"Over beyond the hill, no understandable strange something, what? Groups living!!"

This strangeness not only in far era living, primitive or ancient but also just before industrial revolution was living, British would hold the same strangeness, might be guessing me.

From it remembered one is world population running shift graph from the primitive cave era to now.

According to this graph, from primitive era to before industrial revolution, population increasing level, especially into 20th century, so hi up like a big ban happening, is obviously at one glance fact.

Population graph which until before industrial revolution like a snake, near the land line snaking, after industrial revolution step by step, one by one, year by year snake head jacked

up for the wall of graph right end, and as soon as rushing into 20th century, like hitting the wall, suddenly population curve(snake moving direction) rising hi up, vertically.

After industrial revolution, main stream in human society got changed from agriculture main to industrial main, and into 20th century, main star perfectly turned to be shifted to industrial, as main stream got fixed.

Due to mass production which industrialized society products and traffic net got extended, expanded, human society and market got complicated and diversified, from it for wholly catching total up or organizing society, human dynamic movement, concept of marketing science settled, established up.

Without plan, this establishment of marketing concept, (as a result, human segmentation, market segmentation, ranking, marking, label putting on human got selfishly walking on, Originally whole one identified character human, whom each scene, each layer, make into parts, segmentize), from it, marketing method pushed military, war skill proceeding intelligent, linkage scale up, addon further, making tiny difference or wearing name only, such not “demand creation”, despite of outlook demand creation but almost no need things pushing sales like a, occupied around, as a result, after it, no need for anyone waste things here and there no touched, stayed, laid. But concerning to it, no one take responsibility, called “responsible less society” appeared, the impression we might have or not.

And concerning to above it, to give the miracle card from a authorized power, in other words scammer could reply like below “ no responsible ok!! To have done it as we like freely, no problem. Because our behind back, automatic improving Big Guy staying, stand by,” to give miracle card called authorized power, or conveniently by scammers chosen was, at the time very famous economy scholar “Adam Smith” and his theory book “The wealth of Nations” last one non logical phrase “by unseen God Hand” (automatically catching up, automatically built-in-stabilizer running start, they scammers counted it as a logical backbone.)

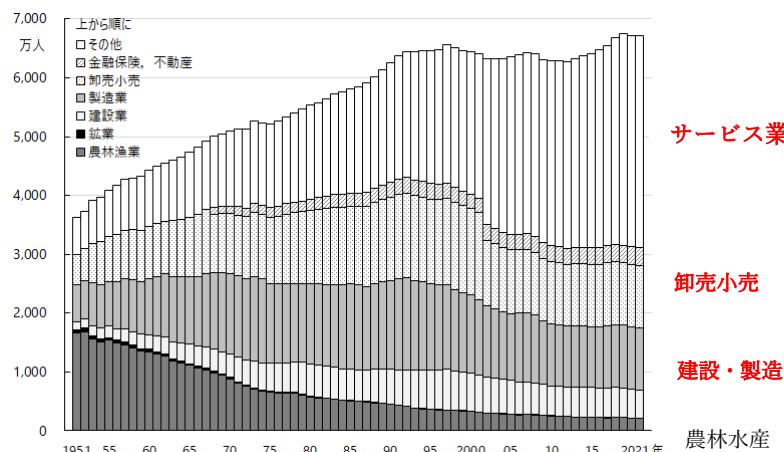
Harmonized soft landing stand by!!

Looked like, I guess.

(Japanese expression ver.)

2022/7/26-2(the date of written)/additional part 2024/3/31

2つの置き換え



今迄のお話で人類が「火を味方につけた」事と、直前のお話では「産業革命を機に世界人口が爆増した図表」を示しましたが、現代人である読者の方々には「火が全ての元？」「人口が増えるって悪いことなの？」という疑念が先に立ち、今一つピンとこないであろう懸念がございましたので、今回読者の方々の実感に合うよう、上記の二つを別の言葉に置換しようと思います。

まず「火」を、火力発電イメージを用いて「電気」に。

次に産業革命以前の線を自然増に合わせて緩やかに伸ばし、それが現代最後年年表の縦軸として採られた壁にぶつかるその交点より上の「でっぱり部分」を「過剰人口」(人)ではなく「過剰生産後の不使用余剰物(余剰生産財)又は不必要押し付けられ、言いくるめられた購買物(不必要消費財)」(無駄なエネルギー使用)に置き換えてみました。

つまり、人の頭数そのものではなく、使用エネルギーを人の頭数に見立てる。

すると、人の頭数は同じでも、使用エネルギーに置き換えると、例えば人口 80 億でもエネルギー換算すれば 50 億（相当）も可能。という風にするためです。（後続書き物で同じようなもの言がもう一回出て参ります）

（特に後者はともすると「余剰人口の出っ張り部分を減らせ」という物騒極まりない発案発想の萌芽をまずは抑える必要性を痛切に感じておりますので、兎にも角にも初っ端から手を打たせて戴いた次第）

この二つ（火とエネルギー使用過剰、生産過剰）を念頭に今一度我々人類の「生産の歴史」を振り返ってみましょう。

まず火を味方につけた事で食物の加工保存が可能になり、衛生面も改善されて人口がそれまでに比べ増え、その増えた人口へ食材を安定的、計画的に供給する農業が生まれました。我々が小学校で教わった言い方を当て嵌めると「第 1 次産業」と言い換えられます。そして前回お話し上げた産業革命の成果が行き渉る様になると次に工業というものが台頭して参りました。

これ又小学校で教わった言い方を当てがいますと「第 2 次産業」と言い換えられます。特にこの「工業化社会」では、初めのエネルギーは蒸気（機関）でしたが、後にそれはエジソンの発明によって「電気」に置き換わり、その電気が「工業化社会」を飛躍的に拡大進歩させました。

その功績は多々あるものの、一例として「灯」によって「夜の時間の活用とその需要」が新たに生まれ、人々のライフスタイルをすっかり変えてしまった事だけとってもその威力が想像戴けますでしょう。

次に小学校で教わるのが「第 3 次産業」

言い換えればサービス業です。

サービス業とは農業、水産業、林業、工業の生産物（products）に人のサービス（人的ノウハウ、スキル、パワー）を加えて提供する産業です。

現代社会ではこの第 3 次産業への従事者の構成比が一番多くなっております（下図参照）。つまりそれで「飯を食っている」人が多い訳です。

そして昨今言われ始めているのが「第 4 次産業」の台頭、というか支配。

最早現代社会に於いては 1 次産業の大半から 3 次産業全般に至るまで「情報化」なしには産業自体存立し得ません。それほどの影響力を「情報化」は持っております。

此处で言う第 4 次産業とは「情報化、情報活用、情報処理などの情報業」を指します。

実際には情報産業より前に「情報化社会」基、「情報化傾向社会」の方が早かに到来している感があります。

恐らく工業化社会拡大深化の中で発生したマーケティング思考（数値化、分類化）の方が先に社会にいきなり、情報産業というのはそれを、より効率的、システムティックに収集、処理、解析、解を提案する産業だからではないでしょうか。

話は変わりますが、「社会」という謂い方を用いますと第1次産業社会は「農業社会」とは言いません。普通「農耕社会」といいます。

同様に第3次産業社会を「サービス社会」とも言いません。

「社会」という言葉がついて認知されているのは「工業化社会」と「情報化社会」だけです。

何か理由があるのでしょうか？

(English expression ver.)

31st Mar. 24 in English

“Replaced, 2 items.”

Until now on my story, "human beings invited fire to on their side", the matter
And

"After industrial revolution, world population so sharply jumped up, increased",
I showed.

But under modern era, some of my article readers might be holding some doubts, like these,
"Fire is original source of current all human society?" or "Is population increasing bad
matter?"

Like such I doubted, then a, in this time I'll try to replace above 2 items for matching
between readers' impression and my hope your understanding expression, the to match.

The replacing is below,

First, by using image of fire power electricity, to replace "fire" to "electric".

Next, to replace overflowing population to waste energy overflow using.

"Waste" image from below,

The line which before industrial revolution drawn curve, naturally extend by almost straight.
And between the right side of this graph, wall, both crossed point, over upper area, if we
count it over flow waste area, it's not as over flow population but over flow production or or
perfect waste scamming sales, left the quite waste scrapped ones` by using important our
planet material asset.

On summarized, while counting human population not by number of heads but by total
energy used level counting, to take.

From to take this counting way, number of human population (number of heads) the same, for the example, even if population (heads) 8,000,000k, by counting as total energy (=waste saved) 5,000,000k level, we can count it, we can reduce, take downsizing, without human lost. (Later chapter coming again the same telling, sorry)

(Especially, the later one (my telling second item), this saying easily invites short-cut thinking shout "reduce human head population!!", such very dangerous stream I`m afraid of, then a, from the first, I put this comment attaching, first of the all!!)

While putting "fire" and over flow energy using (or over flow production), both, on memory, we will check the history of production.

First, they could become fire on their side, they could develop to process, cook, stock hunt , collected food materials and sanitation field would get well, from it, primitive human population up, for increased human population to supply, agriculture was born.

According to the another word instead of agriculture in our elementary school period, we can replace agriculture to "the 1st industry".

And due to the harvest of industrial revolution could reach to anywhere, "industrial industry" had risen up.

Also again above the way taking in elementary school period, industrial industry" can be replaced "the 2nd industry"

Especially at the beginning time of industrial society, used energy was steam engine, but after Thomas Edison invented "Electric (Electricity)", the main stream was replaced from steam engine to electricity, and electricity invited very huge harvest for industrial society jumping and flying up.

Such electricity` harvest so many, one of them as a sample, with introducing, electric lighting invited and made night time sales and market creating until at that time nothing almost Zero sales, market. And it had changed people`s life style and customs. Taking only it as a sample, you can imagine electricity epoch making power contained inside.

Next one at elementary school learned was "service industry", "the 3rd industry".

Field of Service means that agricultural, fisheries, forestry, industrial, to each these industry add on by human customer services industry.

Under current society this "the 3rd industry", "service industry", as their occupation people % is the top occupation of all. This industry, so many people feeding now.

And nowadays, "the 4th industry", called the one rising up, in other word, hidden controlling..

Already under current society, without information from almost field in agricultural to service industry, from the 1st to 3rd of all , never can survive, such level strong influence, hidden 4th one already has had.

Here saying "the 4th industry" means "information technology (technology oriented) industry".

In actual, I guess, earlier coming " information oriented society", reset, "depending on information, tendency society" rather than "information technology industry".

Because maybe within on the way of period, industrial industry increasing, expanding, was born marketing thinking way earlier reached to at that time society general. After reaching(coming) IT industry might be for above that, with more hi performing, with more systematic, to collect, to organize, to analyze, to offer a solution, the way or not?

By the way, suddenly topic changed, under using to say "society", "the 1st industry", not calling "agricultural society" but "farming society" usually, generally.

As well as "3rd industry" not calling "service (hospitality) society".

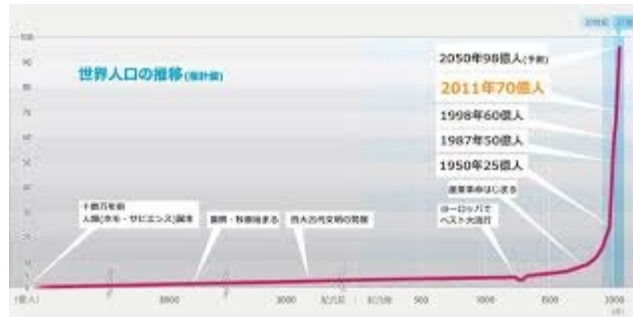
From general, to attach the word "society" be permitted is only 2. "Industrial society" and "Information oriented society", only.

Inside something reason stay?

(Japanese expression ver.)

2022/7/26-3(the date of written)/additional part 2024/3/31-2

諸元はマーケティング？



「社会」という言葉、がついて認知されているのは「工業化社会」と「情報化社会」だけです。

何か理由があるのでしょうか？

という前回のお話の続きです。

推論ですが「～化社会」には「工業」が、「情報」が、「全ての社会活動の根底に横たわる」というニュアンスがあるのではないのでしょうか。

因みに今の農林水産業は工業化され工業傘下の枠組みの中にも組み入れられました。

又、その工業すらもマーケティング上の情報化（情報産業）の中に組み入れられると同時に人々の私生活、内面生活をも把握管理誘導が可能になりつつあります。

これは今迄にない程の、つまり前例がないのでなかなか読み解けない変化かもしれません。

話を少し振ります。

前の記事で第3次産業であるサービス業の定義の部分で以下の様に述べました。

“サービス業とは農業、水産業、林業、工業の生産物（products）に人のサービス（人的ノウハウ、スキル、パワー）を加えて提供する産業です。

現代社会ではこの第3次産業への従事者の構成比が一番多くなっております。つまりそれで「飯を食っている」人が多い訳です。“

で、此処で不図思い当たった事がありました。

それは

第3次産業が人をメインフレームとして使う（結果、雇用を促進する）人海戦術方向なのに対して、今回取り沙汰されている第4次産業或いは情報化社会というのは、第3次産業で活躍の場を得た「人間」を効率化省力化の名のもとに「減員化」「無人化」する方向に働いているという事です。人間が主役の座からおろされ、脇に追いやられるという事です。上司からちやほやされなくなり構ってもらえなくなるという事です。「あ、そ。で？」

前記事の語法を用いるなら「でっぱり部分」をカットする方向に働いているという事です。

「でっぱり」という謂い方は雇用される側から見た言い方ではなく、あくまでも経営効率、利益獲得効率（資本回転効率）を重用する側からの物言いです。

この動きは第3次産業だけでなく、ご本家の第2次産業にも及びつつあります。

言い方を変えると既に第2次、第3次産業は第4次産業、情報化社会のコントロール下にあるともいえそうです。

今や、前回掲載した下の図の産業別構成推移表のほぼ大半（製造、建設業＋卸売小売業＋サービス業）が、この表には乗っていない第4次産業の支配下にあると言っても過言ではない状況です。

しかし、この主導的役割を果たしているのは、世によく喧伝される様に、GAFAM等のIT産業界そのものではなく、それを産んだ大元の「マーケティング的思考法」なのではなかろうかと自分は感じております。

GAFAMが得意としそうな効果的広告、広告効率やBig Dataの活用は、元はマーケティングのそもそもの目的、即ち「最大商機獲得」の一手法に過ぎないと思われるからです。

GAFA(M)はその上で踊っているだけです。或いは踊らされている事に全く気付いていないだけなのかもしれません。

「そもそも初めは、なんだったんだっけ？なにをしようとしていたんだっけ？」

改めて、ガラガラポンの後、考えてみる必要がある様な気が致します。

(English expression ver.)

1st Apl. 24 in English

"The original source was marketing."

From general, to attach the word "society" be permitted is only 2. "Industrial society" and "Information oriented society", only.

Inside something reason stay?

Such above, previous story tail, the to be continued one, below

It's my guess that, the expression of "xxxx society", xxxx=for the example "Industrial society", "Information (oriented) society", these might have nuance whose concept, for the example, "industrial", "information(oriented)" laying on the bottoms of "society", or not!? From the other point of view, current agriculture, forestry, fisheries industry, as one of it, had swallowed into within frame of industrial industry had been controlled under industrial industry.

And even that industrial industry, as one of it, has swallowed into within frame information (oriented) industry and has been controlled under information (oriented) industry, at the same time, people private lives, inner mental lives are becoming possible to catch up, to control, to invite, to tempt, now going on the way.

It's until unknown, no stepping in, the experience, from it, it's the difficult issue to resolve, might be, might be.

Story angle little bit will get changed.

On previous my article, at the part of service industry, I told below,

"Under current society this "the 3rd industry", "service industry", as their occupation people % is the top occupation of all. This industry, so many people feeding now. "

At here without on schedule, I got inspired one.

That's a,

The 3rd industry (service main industrial) is using human as a mainframe for business (as a result 3rd industry makes human employment, in other word, toward human wave operation taking, but vasa, versa, the 4th industry toward against it, makes well alive working human employee lost job, to pushed into lay off, fired, own quitting, into sad corner, generally, human employee reducing direction under the name of less human, reducing human solution for hi "performance" getting.

Sure that your boss no cherishing you anymore, as the same.

Only replying to your opinion, request, eager, anxiety, like this. "Ok. Then a, what!?"

If we see in previous article words, "overflow waste part", the left to cut off direction toward moving, the meaning as well.

Above used word "overflow waste part" is not from employee side mouth come out but from putting a weight on performance of business, profit rotating ratio, owner side mouth come out one.

This tendency reaching not only to 3rd industry but also to 3rd industry parent, 2nd industry also.

By the other using to say, both 2nd, 3rd industries already got fallen into the position under 4th industry controlling, such we can tell.

This tendency main players aren't GAFA(M) etc. IT industry itself, which are generally counted on media sources, but the way of marketing original concept which born IT industry, might be, I'm counting. the left source, because GAFA(M) skillful points, effective advertisement, ad performance, Big Data useful using way are originally marketing principle target "maximum business chance how to get and from it how to get maximum profit", looked like. GAFA(M) are merely dancing on it. Or they are forced dancing perfectly without noticing., their level the only.

"First, what was the origin? What are we intending to do?"

Newly, after all reset, we have to think about it, I feel.

(Japanese expression ver.)

2022/7/26-4(the date of written)/additional part 2024/4/1

2022/7/26-4

諸元は電気？



ここで少し妙な質問をします。

我が国での話ですが

「大卒をインテリと言います。インテリという謂い方には嫌な響きが込められております。何故でしょう？」

恐らく

「大卒インテリがその intelligence を人々の為に供していれば、そのような言い方はされなかったでしょう。大学で折角得た intelligence を公（おおやけ）の為に全く使わず、自らの都合の為にだけに優越的に使うから疎まれるのではないのでしょうか。反対に、大卒インテリがその intelligence を優先順位を替えて、人々の為に惜しみなく使っていれば良い意味で使われていたかもしれません」

この傾向は我が国のみならず世界中のインテリ層に当て嵌りつつある様です。

そしてこの傾向（公（おおやけ）よりも自己都合最優先傾向）のある方々がこうした傾向を抱えたまま各界の指導的立場に就かれている様な気がします。

これら高位に就かれた公（おおやけ）よりも自己都合最優先傾向のある方々は「売らんが為」なら「後で受益者がどうなろうと知った事ではない」何故なら「後の事は「神の手」（別に宗教上の神を特定するものではありません。要するに責任転嫁先なら何でもいいの）でしょう、立派な名前がついていさせれば）が良しなに処理して下さるから」という様な心象でやりたい放題し放題。

その結果が誰も責任を取らないほったらかしの

「過剰な無駄の残骸の山」

に覆われてしまったのが「現在の地球環境」

仮に人口が今のままでもこの無駄の部分が解消されるだけで排出エネルギー換算での実質人口数は今の 80 億ではなく 50 億位になるのではないのでしょうか。

こうなった元は近代マーケティングの以下の点にある様な気が致しております。

即ち、全人的一人の人間を属性（どのクラスターに属しているか）や、その生活シーン別に個別分解してパーツ（多層レイヤー）化し、恰も顧客層が何倍も生まれたかの様に仕立てた。

（人口 x 分解された属性等のパーツ化数）－（実人口数 x 1）＝（その差分）だけ「商機拡大」の名の元に無駄や無理な需要創出（＝実は不要創出）を行ってきた。

その結果（快適の推奨＝過剰快適の垂れ流し）が現在の地球温暖化の大元の様な気がしないでもありません。

因みに火に置き換わった電気の存在がなければ工業化社会も情報化社会も成り立ちません。この両社会の根底を支えているのは実はこの「電気」である様な気がしております。となれば農耕社会の黒子であった「火」が「電気」に置き換わった時が現代社会の誕生と、同時に地球からのお叱りを受ける起点「大きな曲がり角」だったのかもしれない。

火と電気。

是が人類史上の 2 大発明（大きな曲がり角）だったとするとエジソンさんだけが古代人の大粒の天才に匹敵する唯一の近代人だった様な気がします。（但し、上記自説によると、エジソンさんとして、アメニティー線上の一点に過ぎないことにはなっておりますが）

1 万年前に脳の進化が止まったと言われる人類に真の意味での次の画期的発明（大きな曲がり角の創出）は出来るのでしょうか？

人によってはこの先 100 万年人類が存続し続けたとしてもこれ以上の脳の進化はあり得ないという方もいらっしゃるようです。

さてこれから我々はどうすればいいのでしょうか？又どうなっていくのでしょうか？

(English expression ver.)

1st Apl. 24 in English

“The original source was electric?”

Here I will ask you a little bit strange question.

In our country Japan case matter, the strange, below,

"People graduated from university, we Japanese call "Intellectuals (in Japanese language "Intelli"). Why some in this calling something sounds ugly meaning is contained, like calling them "egghead". Why?"

Maybe

"If graduated from university intellectuals use their intelligences for general people or their lives, such calling like a, egghead nuance contained might be never. They no use intelligence while in university period they had gotten for public, had used the intelligence as egghead only for own position getting, keeping, guarding, decorating with superior behavior. From it, they might have been disliked. On opposite ordering of taking advantage, in the case of using their intelligence as "public first", to them calling way "intellectual"(sounds something ugly one) might be called as good meaning.

This tendency looks like fitting not only Japan but also all over the world nations, on the way going on.

And these tendency holders standing on top leader position in each every fields, looks like.

Above these tendency holder, "me first, public for own (election, position)", for own sales up, don't know consumers later condition, because own has done result, behind own unseen God Hand will organize well.

(above the word "God" is not religion one but a symbol of authority. For them, to get authorized by authority is important)

From it, they no hesitating.

After it, as a sad result, mount of overflow waste scrapped because no one taking responsibility. To be covered by such, current our planet environment now.

According to tentative calculation, in the case of current population the heads the same, by counting of CO2 output base, 8,000,000k population equal level of 5,000,000k can be, might be, I guess.

The cause of being invited such, from my guess, modern marketing concept below point inside might be.

Below is,

Modern marketing concept forced to separate whole one human existence to each attribute (to which cluster belonging) or each life scene, to set as if (so x n) customer layers (heads, groups) existing.

Formula

(Numbers of population x (n) layers (double, triple count, maybe) – actual population x 1 = difference)

The difference got born mount of over flow waste scrapped under the name of "demand creation".

This recommending "amenity life (life amenity) and the overflow tools for amenity full occupied our planet less slits. It might be the core cause for one of our planet warming.

By the way addon, if less "electric"(power) which got replaced from "fire", both industrial, information oriented societies never settled up and has kept, might be.

Just this electric (power) might be our society`s corner stone.

From it, under farming society "the fixer "fire" handing over to "new fixer "electric (power)", the time was just a beginning time of modern society, at the same time, a beginning time of being scolded from our planet, might be (Big turning point)

Fire and electric,

It`s said 10k years ago evolution of human beings organ brain got stopped, the human being has possibility of next big turning or not?

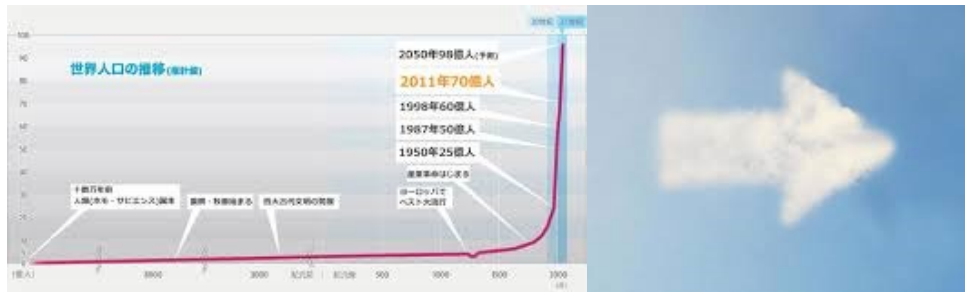
They leak someone said tentative later 1000k years will can keep sustainable, no evolution will happen on human beings.

Well now, well now, from now, what should we do!? how will turn us to!?

(Japanese expression ver.)

2022/7/26-5(the date of written)/additional part 2024/4/2

ところで、進化って何？



一通り人類史を概観して参りましたので此处で本題の

「(人類の) 脳は1万年前から進化していない」

に戻りましょう。

記事を書きながらも上記の文言について色々角度を変えて考えてはみたのですがどうも今イチ納得がいく視点が見つかりませんでした。

いや仮に1千年前と言われても百年前と言われても昨今の目間苦しい新技術の登場や新手法の開発ラッシュを目の当たりにするとどうも実感的に納得がいきませんでした。

譬え1年前からと言われても「日進月歩」感からすると違和感を抱いたでしょうから。

そこでアプローチの方法を替えてみました。

曰く

「ところで進化とはなんぞや？」

と。

まず思い浮かぶのは

「以前よりも優れた能力の獲得」

しかし是では今の目まぐるしい繁忙と、それに対応した能力の獲得は進化の過程である、と、今のあり様を当然のこととして受け入れる事になってしまいます。それでは、違和感が違和感のまま、はぐらかされて、序に蓋をされたようなものです。木で鼻をくくられたようなものにしかありません。

そこで以前記事で書いた定義を充ててみました。

「適者生存。即ち環境の変化に適応するものだけが生き残る」

の内の

「環境の変化への適応 (変形、変異、変身)」

を宛がうすれば

「1万年前に人類が火を味方につけて以来その加護の下、人類は大きな環境変化をもろに受けずに済んできた。

環境が激変しなければ環境変化への適応はいらなくなる。環境変化への適応を進化と呼ぶなら、環境そのもの、つまり進化の起因そのものがずっと長く、無くなったのも同然状態だったのだから進化は起こらない」

是が正しい解釈だとすれば

「人類はこの1万年基本的には安定モードだった」

火を使い始めることでその前にあった淘汰の波から逃れることができた。

しかし「その火」と使い方をどんどんアメニティ（快適）方向にだけ、一方的に進めたことで、知らずに環境適応への能力を少しずつ失い、淘汰の波の再来への備えがまるでなくなってしまっているのが今。或いは圧倒的に不足しているのが今。

ワットさんも、スティーブ・ジョブズさんも「アメニティー方向」の上昇線上に位置する一点でしかない。むしろ淘汰、選別、適者性生存要件からすると、言い方は悪いですが「真逆の事（淘汰への対応力をどんどん奪っていった）をやっているに過ぎなかった。善意や情熱が意に反して悪い結果をもたらしてしまった」

と言い換える事も出来ましょう。

しかし昨今、以前の記事でもお話ししました様に「普遍不動と思われた季節の到来順そのものが変わりつつある様な「大きな曲がり角」に差し掛かっている予感もあります。

是は火の功罪の罪の部分が齎した1万年後の「大きな環境変化（主に地球温暖化）」の名に値するレベルのものであれば、新たな適者生存要件を見出して適応する「又と無い（再）進化のチャンス」に臨んでいるともいえそうです。

もし、仮にそうだとすると我々は適者生存要件を満たす為に今の生活や価値観、生き方も含めて激変せざるを得ない事態をも念頭に置く必要がありそうです。

恐らく今迄の派生や垂流レベルの解では「全く」事足りないでしょう。

その延長線上での解を求める方が将に「完全なる無駄」

なので、今盛んに喧伝されている「おいしい話」や「お手軽簡単便利で即効お役立ち」的なものはまず何の役にも立たないと思います。

視点、視界、視座を根底から変えなくてはなるまいという意識変革がDX(Digital transformation)のDigitalのDが付くか否かに関わらずtransformation（変形、変異、変容する程の大変革）が何よりもまず喫緊の課題でありその解決策の叩き台作りが強く求められる所以の様な気がしております。

今迄我々が錯覚していた可能性があるのは「深化（＝同じ処の深堀り＝言い方を変えればアメニティー一方向への上昇線とその効率化）」を「進化」と思い込んでいた。同じ処の深堀りではなく浅くてもいいから次へ進む（次に備えてその方向に歩み出す）「進化」

それが今とみに必要な気が致します。

ひょっとすると AI が人類淘汰、適者生存選別の大なたを振るう先兵なのかも知れません。
淘汰チェッカー。

だってもう地球上の他の如何なる生物をもってしても人類には太刀打ちできないんですから。

淘汰役を担うものと言えは人間とは全く異なる mechanism を持つ、人間から見て情け容赦のない自然災害とか AI。

そう考えると、なんとなくつじつまが合います。

(English expression ver.)

2nd Apl. 24 in English

“By the way, what`s a evolution!?”

Even though one through had been glancing at human history digest, then a, will return to main theme,

"Human beings` organ brain from 10k years ago had stopped own evaluation."

While writing articles, at the same time I`ve been thinking about above sentence from several angles, but never could find just hit the point perspective out.

Under such rapidly changeable days running situation, even if me required imagining about 1k years ago, non, 100 years ago world, it might be too difficult to do it. Further more, only even 1 year ago, might be difficult because of changing speed of this society so hi. The question little bit strange, I had felt.

From it, I changed my perspective for asking way.

That`s below,

"What`s a "evolution!?"

First inspired one is " to get more superior ability than previous."

But according to above explanation, current mind lost level busy situation and for clearing it, the ability getting (wearing) is the process of evolution (in actual, advancing, proceeding level meant, it`s not evolution itself.) following it means to turn accepting current situation, the same, equal. It no touch my strange feeling, forcing put it aside, the same.

From it, former my holding perspective, tried to put it on this sentence.

"The matched can survive. The one who match with changes from environment, only can survive."

Within above sentence, the part of " who match with changes from environment," put the left on "evolution",

"from 10k years ago, human beings fire on their side inviting in success, human beings has

been living within fire fence's guard with can escape from environment big change directly. Unless environment big change happening, turning to no need matching ability for environment changings. The matching with environment ability to get, we call it "evolution", the case, environment itself, the cause of environment changings so long time, as due to has been less, the same, evolution no happen."

If it's correct understanding,

"During 10k years, human beings has been under safety mode, within."

From to start using fire, human beings can escape from attacking wave of Big selection until that time had happened.

But from the using way of the fire, further and further only direction of amenity, from one side, one way making focus to it running on and on, under during unknown so many era, as a result, little by little lost ability of matching environment change, against selection wave attacking prep. no set, or in very loosen stand by mode, built in stabilizer almost zero condition, now can say might be.

Or Mr. George Watt or Mr. Steve Jobs were only mere one of dots on the up and up line for amenity.

Rather, from perspective of survival against big selection, I know it's bad expression as an allegory, but unconsciously had pushed to direction people to be lost resistance power further and further, simply as an result. Their good will or passion against their hope or plan, had turned to be on the bad way running.

We can might replace to above perspective saying.

But nowadays, a case of in Japan even coming order of 4 seasons we Japanese had counted it fixed, even the order, turn, has changed which before, which after turn scrambled, jammed.

From above experience, suddenly I feel 6th sense of that we are at the big corner turn coming closer, going on, on the way.

If it's meaningful level on counting, of that it's fire bad face side bringing 10k years later to us as a big turning corner (mainly our planet warming, abnormal climate), we are standing beside very rare chance for that while finding new selection code out, to match (= to evolve), we can say, the possibility besides.

Tentative if it's correct, above perspective, we have to put the case happening on our schedule for pre. against or accepting selection big change. Before it coming, the schedule might forces us our perspectives, deserving way, worthy of, lifestyle, etc. We have to accept it, perhaps.

Until now so long time misunderstanding, the possibility we have. The misunderstanding is mis-taking dig up at the same place deeper and deeper (tracking amenity and improving amenity level up only) as the same as evolution. Not digging up deeper and deeper at the same place but even if it's not deep, to step out and into next world (stage, field) for prep. next

coming selection, standing by for it, is "Our human beings` Evolution."

It`s just required one, I guess.

Perhaps AI might be a "Trojan Horse" player who is sent for secretly destroying us.

"The checker for selection".

But on our planet no saver, no competitor with human beings anymore, anywhere.

The selection checker, we can imagine, which holds perfect independent from our perspective,

holding perfect no controlling original mechanism, holder, nature attacks or AI only.

Such perspective taking, vertical, horizontal matrix get organized, I guess.

(Japanese expression ver.)

2022/8/10-2(the date of written)/additional part 2024/4/2-2

2022/8/10-2

後記



「今年の夏は子供の頃の「あの夏」を堪能致しております」

汗だくになって表を歩き、人目もはばからず首にかけたタオルで顔を拭い、家の塀が作る日影があるとその細長い回廊を伝って歩く夏。

窓を開けていればこそ、セミの声がじかに聞こえ、打ち水で冷やされた土の香が微かにする冷気が入ってくる。

氷を口に含み、水で手のひらを冷やし、風呂場で水浴びをする夏。

それでもだめなら最後の一手で、この世から一時ドロンパッする

昼下がりの

「お昼寝タイム」

エアコンが壊れ、修理もままならないので、今年は、いや今年からかな？そんな夏を堪能致しております。或いはこれからそんな夏を毎年、堪能できそうです。

大変だけど、「なんか手で触れる人生、生きている実感あるなあ」ってな感じです。

それにしても本論の推論が正しいとすれば、地球人の多くが一刻も早く手を打たないと、間に合わなくなってしまいます。大変なことになってしまいます。

手を打つのは、「我が身第一」のお偉い方々ではありません。彼らなんかに任せておけません。

一般ピーポーの我々がこぞって、自らの生活様式や価値観を変えないと、間に合いそうもありません。

お偉い方々は役に立ちません。

いい加減すぎ、無責任すぎ、我が身第一過ぎて。

任せておいたら、我々はまたぞろ彼らのいい鴨になるだけでしょう。

そして

又、いつか来た道。

♪ 祇園精舎の鐘の声

諸行無常の響きあり

沙羅双樹の花の色

盛者必衰の理をあらわす。

おごれる者久しからず

唯、春の夢の如し ♪

に我々人類がならぬ様。

(English expression ver.)

2nd-2 Apl. 24 in English

“After article written up our side comment.”

In this summer, I`m full enjoying in my childhood "that summer", enjoying.

Covered by sweat all body under strong sun shine, no hesitate wearing towel around neck and sweeping by it face, walking on shadow belt which around house making such a summer.

Because of window full open, cicada singing fully can hear, cool down, a land by water showering, the tiny smell of land containing cool air coming house into.

Mouth inside ice cube rolling, by water palms cooling down, in a bath room taking water shower, the summer.

If it not turn to be effective for cool down, my last weapon, short time disappearing own, under afternoon short sleeping, "Siesta" .

Because of AC not running, no way to reach repairing, in this summer or from this summer?

Such summer time full enjoying. Or from this year series every year like this might be.

Very troublesome, but can feel touchable own life hunted, I rally feel.

Anyway, tentative the last chapter my guess is correct, almost of all residents on our planet should have done a stopping CO2 increasing, amenity the top perspective ASAP, if not in time, big bad event will come.

The members who have done it stopping aren't our planet leaders on stage. We never can depend on them.

Almost of all we general people with bottom up, from our own side change lifestyle, fixed perspective, if without it, not in time seems to be.

On stage show up leaders are not useful.

Too much multiple tongues, no responsibility, me first guys!!

If depending on them, we are merely scammed target becoming only, might be.

And

Former seen the road on the way, again.

♪ The voice of big bell from temple

Anything not fixed, telling by its sound.

The color gets dried of gorgeous flower means

Anything sunk down at the final.

King not so long keep his crown.

Merely, like a dream midnight in spring season only ♪

For never turn to such, we human beings.

(著者プロフィール)

うときゅう いっき

本名 宇都宮一貴 (うつのみや かずたか)

一九五三年東京生まれ。早稲田大学第一文学部ロシア文学科を二回留年の後、卒業。大手電機メーカー商品企画部に二十年間勤務。同子会社経理部等に十六年間勤務。四十歳から五十二歳まで十二年間重度うつ病を罹患。左遷、リストラ、降格、離婚、家族崩壊の後、生還。定年退職後、嘱託社員契約を辞して株式会社うとQを設立。趣味は観察すること、考えること、書くこと、カメラの四つのk。著者名は苗字、宇都宮一貴の音読みで、中学校時代の仇名に由来する。

宇宙の「う」

東京都の「と」

宮殿の「きゅう」

数字の「いち」を詰まり音便で「いっ」

貴族の「き」

で、うときゅういっき となります。漢字にするとかなり御大層な名前に見えますので、敢えて音読みひらがな表記にしております。

ホームページ: <http://utokyu.co.jp>

(出版情報)

著 者 うときゅう いっき

発行人 宇都宮一貴

発行所: 株式会社うとQ

〒二一五 - 〇〇一八

神奈川県川崎市麻生区王禅寺東5丁目34番7号

電話: 〇四四 - 九八九 - 一六九八

発 売 株式会社 うとQ

編 輯 ナレッジフォレスト (大竹鉄哉)

カバーデザイン&DTP 製作 ナレッジフォレスト (大竹鉄哉)

©Kazutaka Utsunomiya uploaded in japan 2020

発行日: 2024年4月2日 初版発行

本書の一部または全部について、著作権上、著作権者の承認を得ずに、無断で複写、複製することは禁じられています。

(その他著書)

●多数

●尚、掲載写真は全て google 画像サイトの著作権フリーのものをダウンロードして使用し

ております。当社には著作権、版權は全くない事を明記させて戴きます。